

アキアカネの産卵～羽化

産卵は秋、水田など流れの無い水辺でおこなう。学校のプールでも繁殖するので、雌雄が連結して産卵する姿や羽化を見ることができる。



産卵 秋、オスとメスがつながったまま産卵する



アキアカネのヤゴ

トンボ科 体長 17mm
卵で冬を越し、3～4月頃にふ化し、ヤゴになる。ノシメトンボやナツアカネなどアカネ属のヤゴは形がよく似ているが、腹部の側面にあるとげの長さや位置で区別できる。



羽化 6～7月頃水から出て羽化し、トンボになる



ハグロトンボのヤゴ

カワトンボ科 体長 22～26mm
細い枯れ枝のような体で、尾の先に3本の細長い尾ひれがついている。柳瀬川でもよく見られる。



イトトンボの仲間のヤゴ

イトトンボ科 体長 18mmくらい
イトトンボやカワトンボの仲間のヤゴは、細長い体型で、3本の尾ひれがある。水田や湖沼、流れの緩やかな川で見られる。



アオモンイトトンボ
体長 38mm
第8腹節が青色なのが特徴。